

第11回

わざわざ藤里観光写真コンクール
審査結果発表

白神山地に代表される山の魅力。地域の地場産業である農林業や人々の暮らしの場がある「里」の魅力。秋田県無形文化財に指定されている「駒踊り」の躍動美等の伝統文化。藤琴市日での人々の語らいの場など、様々な田舎の原風景や人間模様。

四季折々の魅力あふれる景観を全国に紹介するため、昨年9月から募集していた「第11回わざわざ藤里観光写真コンクール」の審査会を2月15日に行い、入賞作品23点を決定しました。

入賞した作品は、4月上旬～5月上旬頃まで白神山地世界遺産センター「藤里館」に展示する予定です。



優秀賞（白神山地ふじさと部門）
「影小岳」
淡路 利行（能代市）



最優秀賞
「山の幸に恵まれて」
吉田 慶嗣（秋田市）



藤里賞
「藤里の若鮎」
高橋 弘（岩手県）



優秀賞（里メシ部門）
「ほんのひとてま」
山田 尚樹（藤里町）



優秀賞（一般部門）
「金沢の宙流星に変わらぬ想いを重ね」
市川 徹（神奈川県）

【募集テーマ】

一般部門：藤里町の四季の風景、イベント、祭り、仕事、暮らし、語らい等
白神山地ふじさと部門：これぞ白神山地！

自然の風景
里メシ部門：藤里町の食材や料理、食事の風景など

【応募状況】

県内をはじめ5都県の58人から226作品の応募がありました。

最優秀賞・優秀賞・藤里賞を除く入賞者は次のとおりです（敬称略）

《入選（8点）》

「神々の銀細工」 金田 勇希（能代市）
「晩秋に流れる」 通駅 隆英（青森県）
「歓黄の湿原」 斎藤 悟（青森県）
「千枚漬けで菊の花」 村岡千鶴子（藤里町）
「ヤマセミの親子」 山田 康広（能代市）
「勝ったよ、僕」 山田みどり（能代市）
「深山幽谷の秋」 加賀谷知基（秋田市）
「蛍の乱舞」 嶋田 洋一（能代市）

《佳作（10点）》

「厳寒！ 銚子の滝」 吉田 慶嗣（秋田市）
「祈り」 吉田 慶嗣（秋田市）
「SAMURAI」 坂本 誠（能代市）
「巫女の頭飾り」 五十嵐敏紀（横手市）
「仲よし」 佐藤 義敏（秋田市）
「落葉のみち」 通駅 和子（青森県）
「飛翔」 淡路 利行（能代市）
「白神の早春」 山田 尚樹（藤里町）
「ブナの森への道」 山田 妙子（藤里町）
「雪溪に憩う」 渡邊 昭道（三種町）